

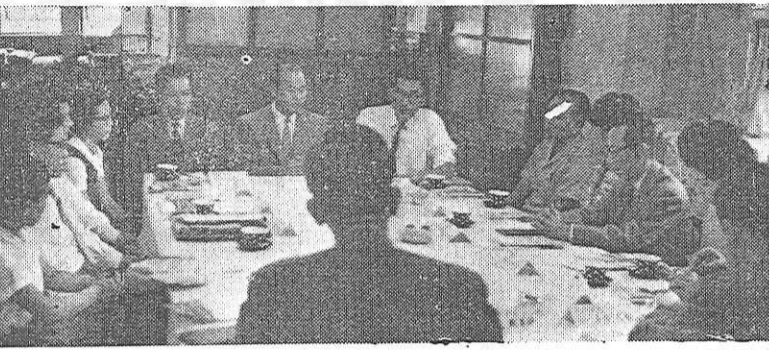


# 足りない事前指導

## 日程の組み方に難点

秋の修学旅行シーズンに入り各見学地は修学旅行で賑わっているが、去る九月二十五日午前七時より都内の主だった観光バス会社の運転手やガイドさん達に協会の会議室へお集まりを願って修学旅行の感想や裏話を聞くことができた。

### バスガイドの修旅座談会



修旅を語る座談会に出席の皆さん

開会の挨拶(永井事務局長)の後、出席者の自己紹介があり座談会に移った。

- 出席者(順不同敬称略)**
- 東京観光バス株式会社 教務課長 山本 敏夫
  - 運転手組長 福元 一男
  - ガイド 山本 洋子
  - 大東京観光自動車株式会社 営業課次長 茂村 豊久
  - 運転手 星 力
  - ガイド 中村 博子
  - 国際観光自動車株式会社 新橋営業所長 森岡 茂
  - 運転手 田中 政司
  - ガイド 坂口 和子
  - 帯広オート株式会社 営業主任 田中 勝芳
  - 運転手 佐藤 一郎
  - ガイド 大原ヨシ子
  - 全国修学旅行研究協会 事務局長 永井 照
  - 事務局次長 中原 末弘
  - 調査研究部長(司会) 山本 実

司会 皆さんから見たお行儀のよい学校と悪い学校は、別でわかりますか。

A氏 九州や関西、東北地方はあまりよくないようです。バスに乗車する態度ですぐわかります。

G氏 訓練の良い学校は乗車順序が定まっています。乗車順序が定まらないうちから乗る感じがするほどです。小学校に多いのですが、車内で同じ歌を何回も繰り返し歌っている先生がいますが、あまり感心しません。

I氏 先生は毎年同じ所へ行くのでガイドの説明を聞きあきまわして、説明を止めて歌をさせるわけでしょう。最近の先生の中には業者が土産物を要求するプロ化した方がいて驚きます。

司会 見学の説明で苦心する感じについて。

G氏 夜行で来た生徒さんがそのまま乗車すると、説明しているも皆さんは寝てしまわれたいです。バスの中も教室の延長かと思ってしまうので、生徒さんについて一生懸命に説明しても、生徒さんが眠ってしまったら、どうしようもないですね。

### まじめな小、中校生

#### 高校生の自由行動に問題

司会 小、中、高校の校種別に見ると、先づ高校は自由行動が多いように見えます。

B氏 遊びが八割、勉強は二割というところでしょうか。

G氏 見学は次の次と聞くと、高校生の修学旅行で解放的な気分になっているので、ガイドでなく一人の女性として見るために起ると思えます。

I氏 職業上の言葉として申上ったのを感心される訳です。

F氏 見学目的の自由行動にたいして注意を払ってほしいです。中には、仕事があり疲れたいので、丁寧にお断りしています。

### 多い無理なコース 下見は閑散期に

司会 コースや下見について

I氏 山陰地方の中学校に多いのですが、先生方が無理なコースの組み方をされるのがあります。

N氏 都内見学のコースを学校で決めて下さるのは結構ですが、困難な場所やコースについて事情を説明して変更をお願いするの嫌な顔をされるのがあります。

I氏 シーズン中の下見はほとんど閑散期に下見されるのがあります。

### 安全運転に協力を

司会 安全運転について。

H氏 先生は一番前の座に座らされるのですが、中程か後方の非乗席の先生は、一度開閉中の晴美壇頭の下見を見学して都内コースの下見を止められました。

### 苦勞するガイドの養成

K氏 校外学習の大切な仕事をする訳ですから、各社とも大体三ヶ月の養成期間を経て半年か一年位でコースにつかかっています。本日御出席のガイドさんには三年以上のベテランばかりですが、大部分は高校を出た若い娘さんが多いので養成には苦勞します。

司会 本日の座談会はこの辺で終りたいと思います。

### 見学地紹介



#### 江ノ島の修学旅行と水族館、マリナランド

坂本 正

今年も修学旅行のおこなわれる秋が訪れて来ました。修学旅行も昔は殆んど秋に限られたものでしたが近頃は、春に集中するものが増えて、二学期後半に集中するものも増えています。春、秋、冬、夏、四季を通じて、修学旅行の最近の傾向は、五校十校同一行動をとる連合体に偏重され、その生徒数も五百名から七八百名と集団化してまいりました。水族館とマリナランドを見学する学生団体(例)として、その六〇パーセント近くがこの連合体であります。

今年も修学旅行のおこなわれる秋が訪れて来ました。修学旅行も昔は殆んど秋に限られたものでしたが近頃は、春に集中するものが増えて、二学期後半に集中するものも増えています。春、秋、冬、夏、四季を通じて、修学旅行の最近の傾向は、五校十校同一行動をとる連合体に偏重され、その生徒数も五百名から七八百名と集団化してまいりました。水族館とマリナランドを見学する学生団体(例)として、その六〇パーセント近くがこの連合体であります。

又、利用する交通機関も大部分の団体が大型の観光バスを使用し、見学時間も一時間前後で次の目的地に向かっています。

江ノ島水族館と鯨のマリナランドの見学生徒数は毎年十五万から二十万人位と飛躍的に多くなりつつあります。その団体学校の所在地の分布状態を見ますと、高校は九州全域から四国、北海道、山形、中学は本州全土に及んでおり、小学生は関東全部とその周辺に集中しています。

修学旅行の目的は見学のみのため、社会科の知識を豊富に得られるという実益があり、また一般社会人となつてからもよく印象に残るものでなければならぬといふことを聞いておられます。特に日本人が健康を保持して生きて行く

環境と近代設備を誇る  
修学旅行のオアシス

宿泊料金  
中学生 350円(2食) 1000名様取容量  
高校生 450円( ) 新切、丁寧、清純  
一般 600円以上( ) なサービス

来年度のご予約はお早くお申込みを

**東京青年文化会館**  
東京都渋谷区千駄ヶ谷4の25 電話 東京(401) 5111-5 (千駄ヶ谷駅) 徒歩3分

学校の図書館に小学館の

**日本文化地理大系** 全修協 推薦

全18巻 刊行中 (体裁)  
B5大判・本文8ポイント二段組及び9ポイント二段組併用・平均384ページ・函入上製本・各巻に原色版24ページ・グラビア32ページ・多色刷大判地図2~4枚・大型写真500~600枚収載 特選アート紙使用・総クロス

(定価)各1,500円 全18巻 定価27,000円 一時払25,500円 (お支払い方法についてはご相談に応じます)

第1巻	九州	I
第2巻	九州	II
第3巻	中国	I
第4巻	中国	II
第5巻	近畿	I
第6巻	近畿	II
第7巻	近畿	III
第8巻	中部	I
第9巻	中部	II
第10巻	中部	III
第11巻	関東	I
第12巻	関東	II
第13巻	関東	III
第14巻	東北	I
第15巻	東北	II
第16巻	東北	III
第17巻	北海道	I
第18巻	日本総記	付録